

Housing
Komachi 特別編集



AKIYA ARCHITECTS

株式会社 穂谷建築事務所

と建てた家



Simple
シンプル

Innovation 革新 SIFT Timeless 永遠

Function
機能

AKIYA ARCHITECTS
株式会社 穂谷建築事務所

☎ 0258-86-5212
contact@akiya-a.co.jp
<http://www.akiya-a.co.jp>

■本社 / 厩長岡市石内2-5-15
■営業時間 / 8時30分～18時
休不定休
■標準工期 / 3カ月～4カ月 ■年間建築棟数 / 4棟
■建設業許可番号 / 新潟県知事許可(般-20)第42939号
■モデルハウス棟数 / 0棟 ※竣工物件の見学が可能。(要予約)



この家族、この家
暮らしの達人
Life style

長岡市・穂谷邸

楽しみながら賢く暮らす 次世代スマートハウス

街並みに溶け込みながら

そっと呼吸をするように佇む穂谷邸。

目指したのは、無理することなく

快適に暮らしながらも

環境に貢献できる

スマートな暮らし方——。

「エコ」の一步先にあったのは

心から納得してストレスなく暮らす

本当の心地よさでした。



作った電気を効率よく使う「賢い家」

明治の時代から代々住み継いできた土地で、大工だったお父様が造った家を建て替えることになった穂谷さんご一家。建築士であるご主人が自邸を手掛けるに当たり、キーワードになったのが「スマートハウス(賢い家)」だった。

太陽光発電などで電気を作り出す従来の住宅が「エコハウス」などと呼ばれるのに対して、「スマートハウス」とは家庭内の電化製品をネットワーク化し、電力の使用を最適化するシステムを持った住まいのこと。太陽光発電で電気を作るだけでなく、それを蓄電池に溜めておけるようにするなど、一般的にはいくつかの定義が設けられている。

「スマートハウスにした理由は、環境に貢献したいというエコな動機からだけではないんです。環境のために何かを我慢する暮らし方は、結局は続かない。最新の技術を駆使して楽しく快適に暮らしながら、結果的に環境にも家計にも貢献できる——。そうして納得のいく暮らしをすることが、本当の心地よさに繋がると考えました」(ご主人)。

もちろん、快適な暮らしを叶えてくれるものは、先進の技術だけではない。軒の出は夏の日差しを遮ってくれるし、外壁の淡い色は日光を反射してくれる。昔の日本家屋は、自然の力をコントロールするための工夫に満ちていた。

「風通しや太陽との付き合い方、そして街並みとの関わり方。それらに対して素直な家にしたかった。その土地でしか生まれえない、しつくりと土地になじむような家。言うなれば「方言のような家」でしょうかね」(ご主人)。

新築の計画が具体化してから、設計に要した期間はわずか1カ月。こうして、穂谷家のスマートハウスづくりが始まった。



再生可能なエネルギーを使う薪ストーブも、スマートハウスのコンセプトになったもの。ピザを焼いたりして火のある生活を楽しんでいる。



家庭内の電化製品をネットワーク化するホーム・エネルギー・マネジメント・システム(HEMS)のモニター画面。電力の使用状況が「見える化」できる。



キッチンからテラスを望む。外部から視線の届かないテラスに向かって大きな窓を設けることで、プライバシーを守りながらリビング(写真右奥)やダイニング(写真手前)に光と風を取り込める。

左頁・右上/屋根付きのテラスは薪置き場としても活躍。「すぐに薪を取りに行けるので非常に便利です」(ご主人)。
 左上/RC造のガレージから張り出した雨よけが印象的なアプローチ。ガレージの側面には格子状に木を張り、和の風情を感じる佇まいに。
 右下/ご主人の寝室はロフト下に天井を低く抑えて設計。独特のスケール感が、落ち着いた空間を演出。
 左下/リビングの吹き抜けには、一部に以前の家で使っていた梁を使用。およそ半世紀前にご主人の叔父様が加工してお父様が施工したものを、再利用した。



現しの梁や柱が、木造住宅の温かみを感じさせるリビング。「複雑に見えるかもしれないけど、造りはいたってシンプル。間取りもサイズも「材料を無駄なく使えること」を基準に設計してあります」(ご主人)。

素材もエネルギーもデザインも。
無駄を省く心地よさ



夕暮れ時に、明かりが漏れる穂谷邸。アプローチの格子がライトアップされ、昼間とはまた違った美しい表情を見せる。

エネルギーの地産地消で 始末よく暮らす

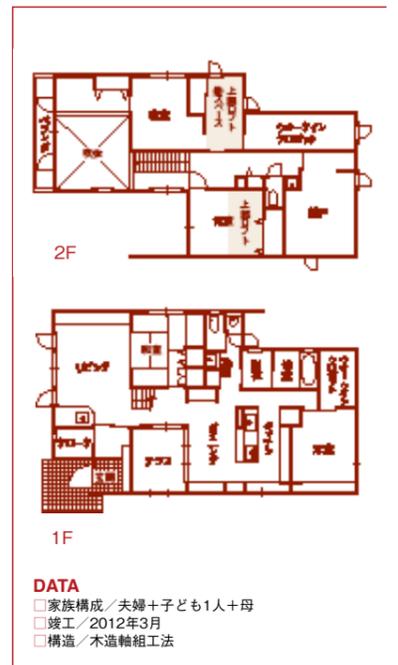
完成した穂谷邸は、昔ながらの土壁にも似た外壁と、深い軒の出が印象的な住まい。室内は梁や柱などの架構を現にした、一見するといったら「普通」の木造住宅だ。

車は、新築を機に電気自動車に乗り替えた。自家発電した電気や、割安な夜間電力で充電して走れるだけでなく、蓄電池として電気を溜めて、家庭用の電力としても使えるようになる。冬には薪ストーブも活用するなど、石油エネルギーに頼らない生活は、「エネルギーの地産地消」に大きく近づいた。

家電はホーム・エネルギー・マネジメント・システム(HEMS)と呼ばれる制御システムで一元管理され、電気の使用状況はモニター画面やパソコンでリアルタイムに確認できる。



リビングと和室の間には、目の細かい格子戸を設置。和室側からもリビング側からも違和感を感じないデザインで、空間を緩やかに仕切る。



「電気の発電量と使用量が一目で分かるから、自然と節電の意識も高まるし、何より環境への貢献度が目に見えるのは楽しいですね」(奥様)。
風や光などの自然エネルギーを最大限に活用しながら、電力を無駄なく効率的に使う、始末のよい暮らし方——。
快適で、便利だけではない、本当の心地よさを備えた穂谷邸は、近い将来、スマートハウスが家づくりのスタンダードになる可能性を、静かに、されど雄弁に物語る。

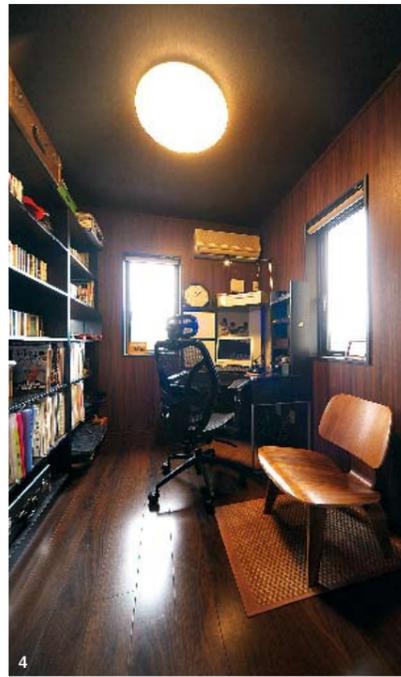


電気自動車は、ガレージに設置した電源から割安な夜間電力で充電。自動車から家に電気を送る制御装置は、メーカーの発売待ち。

募集中「暮らしの達人」に登場していただけるご家族を募集しています。自薦・他薦は問いません。ハウジングこまち編集部(☎025-280-1010 平日9:30~18:00)までご連絡ください。

My Favorite

リビングは段差のない和室と繋げ、2世帯の暮らしやすさに配慮した。収納をすべて造り付けにしたことで、すっきりとした印象に。



- 1 吹き抜けの玄関ホールは、大きなFIX窓から光が届く明るい空間。廊下はケヤキのフローリング仕上げ。
- 2 真壁造りの和室には、仏間、床の間、広縁、さらに書院まで備わっている。細工が見事な「格(ごう)天井」は、寺や料亭などの天井に多く見られるもの。
- 3 腰壁で飾った子ども部屋は、将来的に3部屋に仕切れる造り。
- 4 2階に設けたご主人の書斎は黒を基調にした大人のインテリアに。



DATA

家族構成：夫婦+子ども3人+両親
 竣工：2010年12月 構造：木造軸組工法
 延床面積：257.32㎡(77.69坪)
 1F 169.34㎡(51.13坪) 2F 87.98㎡(26.56坪)
 設計・施工：株式会社 穂谷建築事務所
 ☎0258-86-5212



庭園は、お父様のご友人たちが心を尽くして造ってくれたもの。



屋根の美しさが目を引く〇邸。低く構えて品よく見せることで、町並みの景観に配慮した。

2世帯7人で暮らす〇さんは、老朽化した築40年の住まいを建て替えることに。依頼先に決めたのは、少し前にご親戚の家を手掛けた建築事務所でした。「建築中から現場を見に行ったのですが、木の使い方が素晴らしいし、とても丈夫な家を作るので感動しました」とお父様。

希望したのは、明るくて居心地のいい住まい。リビングには、日本庭園を見渡せる大きな開口を設け、光をたっぷり取り入れています。また、玄関や1階の和室は純和風、2階はモダンに仕上げるなど、親世帯、子世帯それぞれの好みをバランスよく反映させ、動線や収納にも十分配慮しました。「明るくて使いやすい家になって幸せです」(奥様とお母様)。

日本庭園を眺めながら
2世帯で心地よく暮らす



建築住宅センター主催、第一回住宅コンテスト「ラ・メゾン賞」を受賞したA邸。日暮れ時、家の中に灯りがともり、一家の楽しそうな生活が感じられる。



- 1 玄関までのアプローチも家における大切なデザイン。モダンでありながらも奇をてらわず、町並みに溶け込むよう設計した。
- 2 「構造材=内装材」という発想で、空間を最大限に生かしたデザイン。建材は年月とともに味わいを深める国産杉の集成材を使用した。
- 3 ダイニングの隣にデッキスペースを設け、休日はアウトドアリビングを楽しめる。デッキ上部には屋根があるので、雨の心配もいらない。
- 4 スッキリとした現代和風のデザインに、機能性を融合させた大屋根の住宅。
- 5 掘りごたつを採用したダイニング。一角にスタディーコーナーを設けて、家族の交流を育む設計に。
- 6 白を基調にした開放感たっぷりのLDK。梁を現し、木の美しさをさりげなく表現した。

担当者からひとこと

一級建築士・デザイナー
穂谷勝浩

お客様との出会いから設計、建築、お引き渡しの後までも心から喜んでもらえる住まいをご提案致します。年間に手掛ける棟数は限られてしまいますが、じっくり丁寧につくり、ご納得いただける住まいをご提案致します。



株式会社 穂谷建築事務所

あきや

簡素でありながら美しい 木造らしさを感じられる家づくり

時の経過とともに光が動き、どこに居ても気持ちいい日常。特別ではないけれど、美しいものを発見できる瞬間のある家。

穂谷建築事務所は、木造ならではの美しさと癒やしを感じる住まいをご提案致します。日本の風土と文化によって培われてきた建築から学び、四季を通じて快適な住まいを追求。時間がたつほどに味わいが増す素材を厳選し、できるだけ少ない材料で最大の強度を発揮する家をつくりまします。

「木造らしい家」をテーマに、適材適所で木を現しにし、簡素でありながら永く飽きの来ないデザインを目指しています。例えばYチェアや障子戸のような…。年月とともに愛着が深まる家は、風土に溶け込み、気取らない美しさを持つと考えます。

穂谷建築事務所では「お客様に最善の暮らしを」をコンセプトに、的確にニーズを汲み取り、新築設計のアドバイスをプロの視点からご提案致します。もちろん、大工、職人、技術など細かい点にも自信があります。

この春に完成した物件をご覧ください。ただけです、お気軽にお問い合わせください。

坪単価
80万以上
70万円台
60万円台
50万円台
40万円台
30万円台
20万円台
施工エリア
下越
中越
上越
佐渡
工法
木造軸組
枠組壁
RC造
プレハブ
鉄骨造
その他

アイコンの見た
●坪単価・工法・施工エリアの各アイコンは、色の濃くなるほど項目が対応可能なものです。
※設備や仕様、地域などにより、一部異なる場合があります。詳しくは直接お問い合わせください。